

今日の例会 [2470th] 2019. 2. 28

会卓話

相田 日出夫君

前回の例会 [2469th] 2019. 2. 21

公益財団法人 浜田広介記念館
館長 島津正道氏

- ・ 点鐘12時30分 吉田 弘二 会長
- ・ ローターソング 奉仕の理想
- ・ ソングリーダー 四つのテスト
- ・ S A A 青木 道春 君
- ・ S A A 高橋 雅明 君

会長あいさつ

吉田 弘二 会長

皆さん今日は。早速ですがお客様をご紹介申し上げます。公益財団法人 浜田広介記念館 館長の島津正道様です。年度末のお忙しいところおいで頂きまして誠にありがとうございます。後程スピーチを宜しくお願いいたします。

ところで皆さん。1月の電気料金高くなったと感じた方多かったのではないのでしょうか？ 私たちが電力会社に支払う月々の電気料金は、基本料金+使用電力量料金+再生エネ賦課金の合計額で、賦課金の額は電力会社から届く電気料金のお知らせ(検針票)に電力料金の一部として記載されています。「再生エネ賦課金とは何ぞや。」知らない人が多いと思います。正式名称は、「再生可能エネルギー発電促進賦課金」といい、再生可能エネルギーの普及促進を目的としております。これからの化石燃料の依存軽減につながり、燃料価格変動による電気料金の高騰を抑えられるというメリットがあります。そのため電気を利用する国民すべてに負担を求めています。又、電力会社が再生エネ発電事業者から買い取る価格は長期の固定価格であり、その中には事業者の一定の利益も考慮されています。賦課金は、有識者で構成される調達価格等算定委員会の意見を踏まえて、毎年経済産業大臣が決定します。その前提となるのは買い取

り費用です。それぞれの再生エネの普及状況や事業コストなどを踏まえ検討され、買取価格に基づいて再生エネ賦課金の単価が算定されます。ちなみに再生エネ賦課金の単価は、1kW/h当たり、平成26年度0.75円、27年度1.58円、28年度2.25円、29年度2.64円、30年度2.9円です。毎年アップしていきます。私のところでは、1月の電気使用量は約2,200kW/hなので、2.9円をかけますと1月の再生可能エネルギー賦課金は6,380円になります。1月の請求が65,000円でしたのでこれは全体の約1割になります。皆さんも、電気料金など見直しするとともに無駄な電気を使わないように注意して下さい。そして、冷蔵庫やエアコン、プラズマテレビ等を10年以上使用しておられる方は省エネ家電へ早めにお取換したほうがお徳かと思えます。

《幹事報告》

若林 智次 副幹事

- ・ 「小さな親切の会」の総会が行われました。賛助会員の募集をしています。
- ・ 2019年度国際大会(ハンブルグ大会)の案内が届いています。

スマイルBOX

- ・ 挨拶内で宣伝をしたつもりはなかったのですが、どうぞ宜しくお願いいたします。
吉田 弘二 君
- ・ 小さな親切の会の副会長を拝命しています。ゲストの島津さんは同級生です。
井田 裕子 君
- ・ 先週ベトナムの送出し機関へ打合せで酒井くんと行ってきました。酒井くんからもスマイルを預ってきました。
小平 和広 君・酒井 清男 君
- ・ 2月17日の「いただきます」の上映会に539名ものご来場を頂きました。
相田日出夫 君

ゲストスピーチ

公益財団法人 浜田広介記念館
館長 島津正道氏



広介記念館は今年、開館30周年を迎えます。平成元年に浜田広介、ひろすけ童話を慕う多くの方々の期待を担って浜田広介記念館が開館して30年が経過しました。町内の幼児施設や小学校を始め、県内外のご家族や団体お客様等の多くの方々に来館していただいております。折しも、昨年5月25日、広介125回目の誕生日に入館者数八十万人を達成致しました。来館した子供たちは、登場する鬼や龍をはじめ、動物、鳥、虫、花等に心を同化させ、豊かな感性を育てている姿に大変喜んでおります。特に、幼児期には、ひろすけ童話の根幹にある思いやり、やさしさ、強さ、悲しみや切なさといった人として普遍的な情というものを心に刻み込んでいきたいものです。広介先生も「ひろすけ幼年童話」のはじめのことばとして、『知性を開くに先立って、感性のつちかひを行うことが、人・着手となすべきものではあるまいか。』と述べております。現代は、ネット社会で瞬時にして情報を得ることができたり、国際化社会を向かえ価値の多様化が進んだりして、変化の激しい社会であります。ひろすけ童話には、これからの豊かな社会を形成するに不可欠な人としての「情」、その情を育む力があり、また大童話に限らず本に親しむ機会を通して、物事の本質をじっくりと考える思考力や自分の生き方を選択する判断力、豊かな感性等を養い、確かな人間形成の素地を育てていきたいものです。

また、記念館事業も順調に推移し、児童部門の「ひろすけ感想文 感想画全国コンクール」では、三歳の園児の絵が最高賞・県知事賞を受賞したり、鹿児島県や徳島県、岡山県といった全国より「愛と善意」に満ちた感性豊かな秀作が寄せられたりしています。更に、今年度から小学校道徳の教科化により、代表

作「泣いた赤おに」が教科書に掲載されることになりました。全国の多くの子ども達が、優しさや思いやり、哀しさといったひろすけ童話の根幹を感受しながら、人間形成の素地を培ってほしいと願っております。

広介記念館は、町の重要な文化教育、観光施設であります。今後も、ひろすけ会はじめ、各ボランティアの皆様方とともに、浜田広介の業績や高島町の魅力を全国に発信するとともに、童話の里づくり、人づくりをめざし、ひろすけ童話・読書に親しんでいただき、一人でも多くの方々に記念館に足を運んでいただけるよう、魅力ある記念館運営に努めて参りたいと考えております。ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

最後に、6月23日(日)に広介記念館開館30周年の式典、記念公演、祝賀会を「文化ホールまほら」で開催いたします。記念公演として、「オペラ『泣いた赤おに』&ひろすけ童謡」を上演いたします。是非、鑑賞しお楽しみください。

《出席報告》

会員数 48名 出席者数 21名 出席率 43.75 %
前回修正 出席者数 31名 出席率 64.58 %

《メークアップ》

杉森 文昭 君・玉野 敏安 君・戸田 英夫 君
土屋 衛 君・小平 和広 君・高梨 恭行 君
庄司 薫 君・山村 義美 君・若林 智次 君
高橋 雅明 君・島崎 裕司 君

次回の例会 [2471th] 2019. 3. 7

会卓話

一般社団法人 高島青年会議所
第41代 齋藤 浩氏
理事長